

12/7
(月曜日)
18:30~
20:30

参加費：無料

史料提供とお話

山中恒さん（児童文学作家）

「あばれはっちゃく」など痛快な人気児童文学作品を多数世に出す一方、「ボクラ少国民」シリーズなど大衆がいかにか戦争に参加させられたかを検証する著書を精力的に著わしている。

トーク・イベント

「戦前」は いかにして始まるか？

史料が語る、戦争に拍手したメディアと国民

満州事変が軍部の自作自演だとわかっていながら報道しなかった新聞社、メディアと軍部の共犯関係、内閣情報局による情報統制、そして国民の戦争歓迎ムード。装置がそろって戦争に向かっていった歴史を、山中恒さんが自ら収集された戦前・戦中の貴重な史料がらひもときます。今現在、何が起きているのかも視野に入れて、語り合しましょう。

会場：日比谷コンベンションホール
(大ホール)

開場：18:00 開始：18:30～

東京都千代田区日比谷公園1-4 (旧・都立日比谷図書館)

東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」C3・B2出口より徒歩約5分

都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分

東京メトロ 千代田線・日比谷線「日比谷駅」A14出口より徒歩約7分

主催：日隅一雄・情報流通促進基金
共催：NPJ/ファシズムと言論研究会
問合せ先：東京共同法律事務所 03-3341-3133



「主婦の友」昭和19年12月号

